

平成27年(ワ)第13029号, 第23567号 TPP交渉差止・違憲確認等請求事件

原告 原中勝征ほか1581名









被告 国








答 弁 書 (2)

平成27年11月6日

東京地方裁判所民事第17部合議B係 御中

被告指定代理人

保	木	本	正	樹	
福	澤	純	治	治	
岸	田	二	郎	郎	
川	上	洋	一	一	
稲	積	孝	志	志	
石	原	裕	二	二	
井	上	莉	恵	恵	
田	辺	昌	紀	紀	

安	元	晶	子	
松	井	和	彦	
矢	田	真	司	
吉	田	竹	志	
佐々	木	新	平	
日	笠		紘	
加	本	善	紀	

第1 平成27年(ワ)第23567号事件に係る請求の趣旨に対する答弁

請求の趣旨第1項及び第2項に「環太平洋戦略的経済連携協定」とあるのは「環太平洋パートナーシップ協定」のことをいうものと善解した上で、以下のとおり答弁する。

- 1 請求の趣旨第1項及び第2項（いずれも平成27年10月7日付け訴状訂正申立書による訂正後のもの。）の訴えをいずれも却下する
 - 2 請求の趣旨第3項の請求をいずれも棄却する
 - 3 訴訟費用は原告らの負担とする
- との判決を求める。

なお、請求の趣旨第3項につき仮執行の宣言を付することは相当でないが、仮にこれを付する場合には、

- (1) 担保を条件とする仮執行免脱宣言
- (2) その執行開始日を判決が被告に送達された後14日経過した時とすることを求める。

第2 平成27年(ワ)第23567号事件に係る本案前の答弁の理由

被告の平成27年8月31日付け答弁書第2（3ないし9ページ）の主張を援用する。

ただし、同答弁書第2の1(1)3, 4行目（3ページ）に「環太平洋戦略的経済連携協定（以下「TPP協定」という。）」とあるのは、「環太平洋パートナーシップ協定（以下「TPP協定」という。なお、訴状に「環太平洋戦略的経済連携協定」とあるのは、TPP協定のことをいうものと善解する。）」と改める。

また、同答弁書第2に「平成27年7月7日付け訴状訂正申立書の別紙原告目録における原告番号1（原中勝征）ないし同11（山本太郎）の原告ら」及び「原告原中ら11名」とあるのは、いずれも「原告赤城智美」と読み替える。

第3 求釈明の申立て

- 1 御庁平成27年(ワ)第23567号事件に係る原告番号1190(斉藤竜太)は、同第13029号事件に係る原告番号(平成27年7月7日付け訴状訂正申立書による訂正後のもの。以下同じ。)881(斎藤竜太)と氏名が酷似し、住所が同一であるところ、仮に両名が同一人物であれば、二重起訴の禁止(民事訴訟法142条)に違反する可能性があるから、両名の関係について明らかにされたい。
- 2 また、同第13029号事件に係る原告番号385(舟橋憲秀)及び原告番号959(舟橋憲秀)は、氏名及び住所が同一であり、同一人物の可能性があるので、両名の関係について明らかにされたい。